



平成30年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年6月11日

上場会社名 正栄食品工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8079 URL http://www.shoeifoods.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)本多 市郎
 問合せ先責任者 (役職名)専務取締役管理本部長 (氏名)藤雄 博周 (TEL) 03(3253)1211
 四半期報告書提出予定日 平成30年6月12日 配当支払開始予定日 平成30年7月10日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年10月期第2四半期の連結業績(平成29年11月1日～平成30年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年10月期第2四半期	56,534	2.9	3,188	△10.3	3,269	△8.6	2,355	1.5
29年10月期第2四半期	54,936	0.3	3,555	30.2	3,577	28.4	2,320	34.0

(注) 包括利益 30年10月期第2四半期 1,928百万円(△38.0%) 29年10月期第2四半期 3,113百万円(592.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年10月期第2四半期	138.39	—
29年10月期第2四半期	136.10	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年10月期第2四半期	73,495	38,083	50.7
29年10月期	66,252	36,985	54.6

(参考) 自己資本 30年10月期第2四半期 37,321百万円 29年10月期 36,232百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年10月期	—	15.00	—	25.00	40.00
30年10月期	—	23.00	—	—	—
30年10月期(予想)	—	—	—	23.00	46.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年10月期の連結業績予想(平成29年11月1日～平成30年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	104,500	1.1	5,700	5.2	5,750	5.2	3,850	4.7	225.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年10月期2Q	17,100,000株	29年10月期	21,159,914株
② 期末自己株式数	150,471株	29年10月期	4,110,185株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	17,021,079株	29年10月期2Q	17,050,295株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	前連結累計期間 (自 平成28年11月1日 至 平成29年4月30日)	当連結累計期間 (自 平成29年11月1日 至 平成30年4月30日)	増減率
売上高	54,936	56,534	2.9%
営業利益	3,555	3,188	△10.3%
経常利益	3,577	3,269	△8.6%
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,320	2,355	1.5%

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善から、景気は緩やかな回復基調にありますが、米国の保護主義政策の動向や地政学的リスクなど、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況にあつて当社グループは、生産子会社における品質管理および製造設備の充実に努める中、本年4月1日付で生産機能の強化に向けた組織改革を実施し、また、茨城県筑西市のチョコレート工場の新設・増改築を継続して行っております。

売上面については、乳製品・油脂類が、筑波乳業の加工乳製品が堅調に推移し、また、海外乳製品は、製パン業界をはじめとした食品メーカーの需要が旺盛であったことから大幅に伸ばいたしました。製菓原材料類は、栗製品や仕入食材等の販売が低調に推移し、乾果実・缶詰類は、フルーツ加工品が堅調に推移したものの、ナッツ加工品やシード類が前年実績を下回ったことから販売減となりました。菓子・リテール商品類は、ミックスマックス等のリテール商品は伸ばしましたが、菓子類が、チョコレート工場の製造ラインの新設、移設等による生産調整から前年実績を下回りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比2.9%増の565億34百万円となりました。

利益面につきましては、生産子会社の製造ライン新設に伴う工場用消耗品の取得費用や修繕費の増加から原価率が上昇し、また、物流費などの販売費の増加から営業利益は前年同期比10.3%減の31億88百万円、経常利益は8.6%減の32億69百万円となりました。

一方、親会社株主に帰属する四半期純利益は、米国の税制改正に伴う減税効果から前年同期比1.5%増の23億55百万円となりました。

なお、平成29年12月21日付で公表したチョコレート商品の自主回収に伴う損害額は、売上原価で21百万円、販売費及び一般管理費で40百万円の合計で61百万円を計上しております。また、当該事故で求償された受取保険金51百万円を営業外収益に計上しております。

当第2四半期連結累計期間の品目別の業績は次の通りであります。

(単位：百万円)

	前連結累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年4月30日)		当連結累計期間 (自平成29年11月1日 至平成30年4月30日)		前期比	
	売上高	構成比	売上高	構成比	増減額	増減率
乳製品・油脂類	14,509	26.4%	17,132	30.3%	2,623	18.0%
製菓原材料類	9,089	16.6%	8,613	15.2%	△476	△5.2%
乾果実・缶詰類	21,346	38.9%	21,007	37.2%	△338	△1.5%
菓子・リテール商品類	9,802	17.8%	9,604	17.0%	△198	△2.0%
その他	188	0.3%	177	0.3%	△11	△6.1%
合計	54,936	100.0%	56,534	100.0%	1,598	2.9%

所在地別セグメントの業績は次のとおりであります。

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	日本	米国	中国	計		
売上高	48,394	11,003	4,951	64,349	△7,814	56,534
セグメント利益	2,589	724	76	3,390	△202	3,188

(注) 1. セグメント利益の調整額△202百万円には、セグメント間消去△6百万円、全社費用△196百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

① 日本

日本国内の売上高は、原料乳製品が国内の酪農家の減少を背景に、輸入品への依存が高まる中で伸長し、また、ドライフルーツや和菓子材料も堅調に推移しましたが、製菓・製パン向けのナッツ類やファミリータイプのチョコレート菓子類が前年実績を下回ったことから当地域の売上高は、前年同期比2.5%増の483億94百万円となりました。セグメント利益は、チョコレート商品の自主回収に伴う費用処理や生産子会社の製造ライン新設に伴う諸費用の計上から前年同期比6.7%減の25億89百万円となりました。

② 米国

当地域の売上高は、2017年度産の米国産クルミが天候不順等の影響もあり、農家からの受入数量が減少し、在庫数量に限りがあることから外部への輸出売上高は減少しましたが、日本向けの乾果実類など内部売上高が増加したことから、前年同期比3.4%増の110億3百万円となりました。セグメント利益は、US\$ベース(外貨建て)は前年同期比1.1%増と前期実績の水準にありましたが、円高による為替換算額の影響から、前年同期比4.2%減の7億24百万円となりました。

③ 中国

当地域の売上高は、製パン・洋菓子業界を中心にナッツ類や乾果実、フルーツ加工品等が伸長したことから国内売上高は増収となりましたが、中国産シード類は内外価格の変動幅が大きいため生産子会社での取扱数量を絞り、欧米向けの輸出売上を抑制したことから前年同期比9.6%減の49億51百万円となりました。セグメント利益は、輸入商品の購買価格の上昇等に加え、工場の稼働率低下に伴う固定費負担や人件費の上昇等から前年同期比63.8%減の76百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ72億42百万円増加し、734億95百万円となりました。その主な要因は、流動資産については、「現金及び預金」が15億3百万円減少したものの、「受取手形及び売掛金」が29億52百万円、「商品及び製品」が22億18百万円、それぞれ増加したことから、前連結会計年度末に比べ51億52百万円増加し、496億96百万円となりました。固定資産は、有形固定資産が21億88百万円増加し、無形固定資産が5百万円、投資その他の資産が93百万円それぞれ減少したことから、前連結会計年度末に比べ20億90百万円増加し、237億98百万円となりました。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ61億44百万円増加し、354億11百万円となりました。その主な要因は、流動負債については、「支払手形及び買掛金」が30億44百万円、「短期借入金」が21億34百万円、それぞれ増加したことから、前連結会計年度末に比べ53億92百万円増加し、284億34百万円となりました。固定負債は、「繰延税金負債」が1億78百万円減少したものの、「長期借入金」が9億8百万円増加したことから、前連結会計年度末に比べ7億52百万円増加し、69億77百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ10億97百万円増加し、380億83百万円となりました。その主な要因は、「利益剰余金」が17億28百万円減少したものの、「自己株式」が32億53百万円減少したことによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、6億37百万円（前年同四半期の得られた資金は24億46百万円）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益32億61百万円、減価償却費9億25百万円、引当金の減少1億78百万円、売上債権の増加29億90百万円、たな卸資産の増加33億25百万円、仕入債務の増加30億75百万円、法人税等の支払額8億18百万円等によるものです。

前年同四半期比で資金が減少となりました要因は、税金等調整前四半期純利益が前年同四半期に比べ3億9百万円減少し、売上債権、たな卸資産の増加額が前年同四半期に比べ2億72百万円、24億24百万円それぞれ増加したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、27億87百万円（前年同四半期の使用した資金は16億20百万円）となりました。これは主に、有形固定資産の取得によるものです。

前年同四半期比で使用した資金が増加となりました要因は、有形固定資産の取得による支出が12億21百万円増加したことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、19億80百万円（前年同四半期の得られた資金は91百万円）となりました。これは主に、短期借入金、長期借入金の借入による収入がそれぞれ21億36百万円、11億円、長期借入金の返済による支出が3億92百万円、自己株式の取得による支出が4億4百万円、配当金4億26百万円の支払によるものです。

前年同四半期比で資金が増加となりました要因は、短期借入金、長期借入金の借入による収入の増加によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年10月期の連結業績予想は、平成29年12月13日に公表いたしました内容から変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

(持分法適用の範囲の変更)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,009,421	6,505,687
受取手形及び売掛金	19,361,932	22,314,044
商品及び製品	12,776,683	14,995,232
仕掛品	603,067	1,506,103
原材料及び貯蔵品	1,945,770	2,098,617
前渡金	310,751	687,560
繰延税金資産	632,241	556,443
その他	909,390	1,036,244
貸倒引当金	△5,293	△3,872
流動資産合計	44,543,967	49,696,061
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,503,226	8,781,557
機械装置及び運搬具(純額)	4,308,205	4,904,046
工具、器具及び備品(純額)	241,377	234,881
土地	2,436,149	2,399,892
リース資産(純額)	145,675	117,070
建設仮勘定	1,836,913	2,238,363
その他(純額)	195,578	180,143
有形固定資産合計	16,667,125	18,855,956
無形固定資産		
ソフトウェア	51,187	47,950
その他	146,203	144,031
無形固定資産合計	197,391	191,981
投資その他の資産		
投資有価証券	4,130,207	3,968,682
保険掛金	224,700	166,715
繰延税金資産	36,135	37,446
その他	505,422	640,253
貸倒引当金	△52,214	△62,061
投資その他の資産合計	4,844,251	4,751,036
固定資産合計	21,708,767	23,798,974
資産合計	66,252,734	73,495,036

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年4月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,840,864	12,885,601
短期借入金	7,893,364	10,028,312
1年内返済予定の長期借入金	784,140	583,340
未払金	1,587,203	2,397,296
未払法人税等	904,910	905,685
賞与引当金	886,700	672,849
役員賞与引当金	12,810	21,930
その他	1,131,767	939,189
流動負債合計	23,041,760	28,434,202
固定負債		
長期借入金	4,098,384	5,007,114
退職給付に係る負債	610,765	637,573
役員退職慰労引当金	300,530	318,255
繰延税金負債	1,024,031	845,498
その他	191,602	169,224
固定負債合計	6,225,314	6,977,664
負債合計	29,267,074	35,411,867
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,379,736	3,379,736
資本剰余金	3,042,770	3,042,770
利益剰余金	30,603,842	28,875,329
自己株式	△3,703,397	△450,188
株主資本合計	33,322,952	34,847,648
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,988,056	1,878,860
繰延ヘッジ損益	38,668	△11,635
為替換算調整勘定	882,916	606,530
その他の包括利益累計額合計	2,909,641	2,473,755
非支配株主持分	753,066	761,764
純資産合計	36,985,660	38,083,169
負債純資産合計	66,252,734	73,495,036

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年11月1日 至平成30年4月30日)
売上高	54,936,385	56,534,697
売上原価	45,778,442	47,575,840
売上総利益	9,157,943	8,958,856
販売費及び一般管理費	5,602,652	5,770,451
営業利益	3,555,290	3,188,405
営業外収益		
受取利息	2,711	2,799
受取配当金	20,443	23,651
持分法による投資利益	18,605	13,580
保険配当金	33,649	13,156
受取保険金	29,789	62,747
その他	40,562	63,055
営業外収益合計	145,762	178,992
営業外費用		
支払利息	74,115	82,520
為替差損	40,501	7,376
その他	9,228	8,401
営業外費用合計	123,844	98,298
経常利益	3,577,207	3,269,098
特別利益		
固定資産売却益	186	3,023
特別利益合計	186	3,023
特別損失		
固定資産除却損	6,552	7,150
固定資産売却損	—	3,633
特別損失合計	6,552	10,784
税金等調整前四半期純利益	3,570,842	3,261,337
法人税、住民税及び事業税	1,164,379	913,453
法人税等調整額	76,437	△17,672
法人税等合計	1,240,817	895,780
四半期純利益	2,330,024	2,365,557
非支配株主に帰属する四半期純利益	9,327	9,844
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,320,697	2,355,713

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年11月1日 至平成30年4月30日)
四半期純利益	2,330,024	2,365,557
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	54,234	△110,342
繰延ヘッジ損益	34,937	△50,303
為替換算調整勘定	694,365	△276,386
その他の包括利益合計	783,536	△437,031
四半期包括利益	3,113,561	1,928,525
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,097,577	1,919,827
非支配株主に係る四半期包括利益	15,983	8,698

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年11月1日 至平成30年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,570,842	3,261,337
減価償却費	896,739	925,852
支払利息	74,115	82,520
為替差損益(△は益)	11,021	10,593
引当金の増減額(△は減少)	△224,198	△178,569
売上債権の増減額(△は増加)	△2,718,420	△2,990,984
たな卸資産の増減額(△は増加)	△900,790	△3,325,460
仕入債務の増減額(△は減少)	3,094,697	3,075,748
その他の流動資産の増減額(△は増加)	22,504	△592,784
その他	△249,993	△58,102
小計	3,576,517	210,150
利息及び配当金の受取額	41,065	51,963
利息の支払額	△73,981	△80,713
法人税等の支払額	△1,096,808	△818,522
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,446,793	△637,122
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,597,681	△2,819,264
有形固定資産の売却による収入	608	44,930
投資有価証券の取得による支出	△7,644	△8,329
その他	△15,333	△4,889
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,620,051	△2,787,552
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	482,407	2,136,482
長期借入金の返済による支出	△418,536	△392,070
長期借入れによる収入	300,000	1,100,000
自己株式の取得による支出	△873	△404,773
リース債務の返済による支出	△32,681	△33,068
配当金の支払額	△238,706	△426,243
財務活動によるキャッシュ・フロー	91,610	1,980,327
現金及び現金同等物に係る換算差額	79,408	△59,387
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	997,761	△1,503,734
現金及び現金同等物の期首残高	7,690,575	8,009,421
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,688,336	6,505,687

- (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年12月13日開催の取締役会決議に基づき、平成29年12月26日付で、自己株式4,059,914株の消却を実施しております。また、平成30年3月13日開催の取締役会決議に基づき、平成30年3月14日付で、自己株式100,000株の取得を実施しております。これにより、当第2四半期連結累計期間において利益剰余金が3,657,943千円、自己株式が3,253,943千円それぞれ減少しました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末において利益剰余金が28,875,329千円、自己株式が450,188千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年11月1日至平成29年4月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	日本	米国	中国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	46,910,436	4,905,487	3,120,462	54,936,385	—	54,936,385
セグメント間の 内部売上高又は振替高	273,667	5,732,237	2,358,614	8,364,519	△8,364,519	—
計	47,184,103	10,637,724	5,479,076	63,300,905	△8,364,519	54,936,385
セグメント利益	2,776,258	757,357	211,588	3,745,203	△189,913	3,555,290

(注) 1. セグメント利益の調整額△189,913千円には、セグメント間消去△19,834千円、全社費用△170,078千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年11月1日至平成30年4月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	日本	米国	中国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	48,273,606	4,747,663	3,513,427	56,534,697	—	56,534,697
セグメント間の 内部売上高又は振替高	120,806	6,255,781	1,437,858	7,814,446	△7,814,446	—
計	48,394,412	11,003,444	4,951,285	64,349,143	△7,814,446	56,534,697
セグメント利益	2,589,348	724,880	76,576	3,390,804	△202,399	3,188,405

(注) 1. セグメント利益の調整額△202,399千円には、セグメント間消去△6,388千円、全社費用△196,011千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。